



公益社団法人栃木県看護協会 看護師教育を考える会 3年間のまとめ

《ごあいさつ》

公益社団法人栃木県看護協会 会長 朝野 春美

我が国は少子高齢化が急速に進行しており、高齢者数の増加による医療ニーズの増大や、生産年齢人口の減少による働き手不足等、保健医療福祉の分野においても深刻な状況となっています。そのような中、日本看護協会では高度化、多様化する医療ニーズに対応できるよう、基礎教育の充実による看護の質の向上を図るための方策として「看護師基礎教育の4年制化」を重点課題として位置づけ、平成30年度から「看護師基礎教育を考える会」を都道府県単位で実施してきました。

本県においては、令和4年度から「栃木県における看護師基礎教育を考える会」を開始しました。本県の同会の開催意図としては、多くの職業の中から「看護職」を選んでもくれた看護学生を、教育養成機関だけでなく医療機関や行政、そして職能団体がどのように連携して行動したら、栃木県に根差した「地元ナース」として育てていけるかを、みんなで考える機会を作りたいということでした。そして、そのためには単年度開催では問題提起で終わってしまうだろうと考え、当面3年間は継続して実施していくこととしました。

初年度は臨床現場の看護職の方々が大勢参加してくださいました。2年目以降、教育現場の方々の参加者が増え、3年目には栃木県看護系教員協議会との共催という形をとり、大勢の看護教員の方々にご参加いただきました。

この会を実施してきたことで、「栃木県の看護師をどう育てるか」という大切な課題を検討するために、関係する皆さんがやっとひとつのテーブルに着けたように思います。当協会では、令和7年度も教育・臨床等の関係者と連携しながら、栃木県の地元ナースを育てる取り組みを行っていきたいと考えていますので、どうか、引き続きのご協力をお願いいたします。



《看護師教育を考える会を実施して》

公益社団法人栃木県看護協会 常任理事 渡邊 芳江

この会は、栃木県の地域性や教育現場の現状を鑑み、「看護基礎教育の4年制化」を理解した上で、看護の基礎教育は教育機関と臨床現場が互いに協力し、継続的に育成することを大切にしたいと研修会を企画しました。それは、疾病構造の変化や少子超高齢社会の進展等、医療をめぐる状況が変化していく中で、未来を担う看護職をどのように育成していくかを考えたとき、教育現場と臨床現場が相互に理解し合うことが不可欠であり、それぞれの課題を共有し、「共に育成する」ということが基盤になると考えたからです。

この研修会をスタートした2022年度は新型コロナウイルス感染症に翻弄され、現場がたいへん混乱していた時期にも関わらず多くの看護職に参加していただきました。また、2023年度や2024年度には看護基礎教育に直接関わっている多くの教員の皆様にもご協力いただきました。

今後も互いに理解を深め共存することで、看護師基礎教育のあり方を考えていきたいと思っております。ご協力いただきました方々に深く感謝申し上げます。

3年間の実績

(講師の所属職位等は研修開催時のものとなります)

第1回 令和5年1月28日(土) 開催方法：ハイブリッド開催 会場：とちぎ健康の森 講堂

【目的】日本看護協会が推進している「看護基礎教育の4年制化」の趣旨について理解を深め、栃木県内の教育現場、医療現場における看護師基礎教育のあり方を考える。

【参加者】看護師基礎教育に関わる教員と看護管理者および教育担当者 148名

【内容】

講演1：看護を取り巻く状況と看護師基礎教育の課題

田母神 裕美 氏(日本看護協会 常任理事)

講演2：栃木県における看護職員の育成について

岡本 友志 氏(栃木県保健福祉部医療政策課 看護職員育成担当 副主幹)

シンポジウム：栃木県における看護師基礎教育の現状と課題

－将来を見据えて看護師基礎教育を共に考えよう！－

座長 金子 昌子 氏(獨協医科大学副学長/看護学部長)

シンポジスト 板倉 朋世 氏(獨協医科大学附属看護専門学校 学校長)

小林 阿由美 氏(済生会宇都宮病院 看護部長)

山形 文子 氏(上都賀総合病院 看護部長)

第1回目は、基礎教育の現場と臨床の現場で、看護師の基礎教育の在り方、看護師養成の現状と課題を共有するためシンポジウム形式で開催しました。教育現場及び臨床現場で活動する看護職に参加していただき、シンポジウムではたくさんの意見や質問があり、看護師基礎教育への関心の高さが伺えました。終了後のアンケートでは、教員や指導者不足等の実習に関する課題、学生の社会人基礎力等の問題に関する意見が聞かれました。看護師基礎教育の4年制化に関しては、必要性は理解できるが人的資源等の現実的な課題がある等の意見が寄せられました。



田母神 裕美 氏



岡本 友志 氏



座長：金子 昌子 氏



板倉 朋世 氏



小林 阿由美 氏



山形 文子 氏

第2回 令和5年9月23日（土）開催方法：集合開催 会場：栃木県看護協会研修センター

【目的】栃木県内の教育現場と臨床における看護師教育の現状を共有し、これからの看護師教育のあるべき姿を考える。

【参加者】看護師基礎教育に関わる教員、看護管理者および教育担当者 89名

【内容】

講演：看護教育を取り巻く現状と課題－よりよい未来を見据えて－
水方 智子 氏（一般社団法人 日本看護学校協議会 会長）

グループワーク：①看護師教育の現状（困難なこと、工夫していること）

②看護師教育のあるべき姿について

③明日から行動できること、具体的な取組み

第1回の会において看護師教育だけでなく、新人看護師教育まで視点を拡大していく必要性を感じ、会の名称を「栃木県の看護師教育を考える会」とし第2回目を開催しました。教育現場の現状と課題についての理解をさらに深めるため、水方智子先生をお招きしました。先生の豊富なご経験を踏まえて看護教育を取り巻く現状と課題について講演をいただきました。講演後には3つのテーマでグループワークを行い、栃木県の看護教育の現状と課題を、参加者間で共有しました。



水方氏による講演



グループワーク

第3回 令和6年12月5日（木）開催方法：栃木県看護系教員協議会との共催 集合開催

会場：コンセーレ 大ホール

【目的】栃木県内の臨床と教育現場における看護師教育の現状を共有し、これからの看護師教育を考える。

【参加者】実地指導者、実習指導者、主に新人看護職員の指導に携わる者 および
看護教員（栃木県看護系教員協議会員） 合計106名

【内容】

講演：看護教育を取り巻く現状と課題－共に考え、共に歩む－
水方 智子 氏（一般社団法人 日本看護学校協議会 会長）

グループワーク：①新人看護師・看護学生と向き合うときに大切にしている看護への思い

②看護への思いと指導における現状

③解決に向けた具体的な取組み

看護師教育は、臨床側と学校側とが一緒に取り組むべき課題であることから、栃木県看護系教員協議会と共同で開催しました。昨年度に続き水方智子先生をお招きしご講演をいただきました。

講義後のグループワークでは、3つのテーマについて意見交換し、課題を共有しました。終了後のアンケートでは、「今回の学びを今後活かしていきたい」という意見や「時代に合った指導について学ぶことができた」「自分を振り返る機会になった」「看護の楽しさを伝えていきたい」などの感想もあり、有意義な会となりました。



－ 3年間の成果と課題－

多様化する医療ニーズに対応できるよう、教育機関と臨床現場の看護職みんなで看護師の教育を考えるために、「看護師教育を考える会」を3年間開催しました。

1回目は、看護師の基礎教育がどうあるべきかについて、臨床と基礎教育側が現状と課題を共有する場として、シンポジウム形式で開催しました。臨床現場の方が80%、基礎教育現場の方が10%強の参加と偏りがみられましたが、看護教育の現状、実習に関する課題についてなど多くの意見が聞かれ、看護師教育について考える場の提供になりました。

2回目は、会の名称を「栃木県の看護教育を考える会」に改め、講演とグループワークを行いました。参加者は臨床現場の方が80%、基礎教育現場の方が10%強と昨年度と同様、臨床現場の参加割合が多い状況でした。講演及びグループワークを実施し、教育側、臨床側の意見を聞くことができ良かったとの意見が多く聞かれ、お互いの立場を理解し、具体的な取り組みが見い出せました。

3回目は、栃木県看護系教員協議会と共催で開催し、参加者106名のうち、臨床側と教育側の参加者数が約半数ずつとなりました。アンケート結果では、「教育と臨床、それぞれの意見や思いを聞くことができ良かった」とあるように、本会の目的である、看護師の基礎教育がどうあるべきか、基礎教育の現場と臨床の現場で看護師養成の現状と課題を共有できたことは、一定の成果があったと考えます。

《編集後記》

本研修は、研修を企画する協会職員にとっても、自分の中にある「看護」を見つめなおす貴重な機会となりました。これから看護師を目指す人、看護師の資格を活かし働いている人、資格はあるけれど臨床の現場から離れている人、すべての人に共通して関わってくるのが「教育」です。本協会は現場が求める教育研修を提供できるよう今後も取り組んで参ります。

教育研修課



栃木県看護協会

会 長	朝野 春美
専務理事	五月 女祐子
常任理事	渡邊 芳江
事務局次長	石川 治美
教育研修課	鈴木 典子
教育研修課	小倉 理佳
教育研修課	亀井 久美

令和7(2025)年6月20日発行

発行：公益社団法人栃木県看護協会

〒320-8503 栃木県宇都宮市駒生町3337-1

TEL 028-625-6141